

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成15(2003)年度第6回相互協力委員会議事録

日 時：2004年2月27日(金)16時10分～17時00分

場 所：豊橋創造大学附属図書館

出席者：鈴木卓美(金城学院大学) 浜口庸介(愛知大学) 足立祐輔(愛知学院大学)
丹羽直美(愛知学泉大学) 柴田なおみ・柘植幸子(椋山女学園大学) 西本和雄
(中京大学) 蓑島智子(中部大学) 岩田真美(南山大学) 水野仁子(名城大学)
松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学) 計11名

欠 席：時實育代(日本福祉大学)

記 録：松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学)

【協議事項】

1. 2003年度情報交換会実施結果について

分科会議事録について

「館灯」へ掲載する方針が決まった。締め切りが迫っているため、3分科会議事録の形式を早急に統一するよう指示が出された。

2. 2003年度会計報告について

資料をもとに岩田氏より説明があった。

3. 2004年度活動計画について

1) 相互協力委員会を6回開催することとなった。

第1回	2004年5月13日(木)	名古屋経済大学
第2回	2004年7月29日(木)	愛知大学 車道校舎
第3回	2004年9月14日(火)	朝日大学
第4回	2004年10月14日(木)	愛知学院大学
第5回	2004年11月16日(火)～17日(水)	鈴鹿サーキット研修センター
第6回	2005年2月25日(金)	金城学院大学

2) 実務担当者研修会の開催について

下記の日程で開催することとなった。

2004年11月16日(火)～17日(水)

鈴鹿サーキット研修センター

ワーキンググループを作り、運営することとなった。

3) データベース共同トライアル・合同説明会の開催について

次年度も次のような方向で開催することとなった。

- ・国内のデータベースを中心に。
- ・説明会を夏頃に開催後、トライアルを実施。
- ・交渉については委員長へお願いすることとなった。

4) レファレンス事例集・掲示板の維持及び管理について

次のような意見が出された。

- ・事例集の内容が難しいように感じる。
- ・HP上にて自由に書き込める環境にしてはどうか。

- 5) 一般開放状況についてのホームページでの公開について
現状として調べる必要性が薄れてきたため行わない方向で了承された。
- 6) 「紀要・学内学会誌分担保存協定」の維持及び充実について
現在規程が館灯に掲載されていないため、大同工業大学へ委員長より要請をお願いすることとなった。
また、N I Iにて全文閲覧可能な図書館も増えてきたため、相互協力委員会でのHP掲載の必要性について、今後検討していくこととなった。
- 7) 「図書館員のためのリンクデータベース」維持管理について
2003年度同様、定期的に維持管理をしていくこととなった。

4. 2004年度ワーキンググループについて

次のように決まった。

- 1) 実務担当者研修会 : 鈴木委員長、三浦委員長、足立委員、柘植委員、松永委員
- 2) 共同トライアル・合同説明会 : 鈴木委員長
- 3) 相互協力委員会ホームページ : 丹羽委員

5. その他

- ・電子ジャーナルによる文献をメール添付やFAX送信が可能になるという話があり、
学術著作権協会の許可など今後の動向が注目されると鈴木委員長より報告があった。
- ・相山女学園大学の柴田氏が退職されるに伴ない柘植委員への引継ぎ挨拶があった。